

ROTARY INTERNATIONAL

# 大洗

OARAI ROTARY CLUB

ゴードン R. マッキナリー RI会長テーマ

「世界に希望を生み出そう」

2820地区スローガン

「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」

大久保 博之ガバナー

「ロータリーを楽しもう!!」

大洗RC会長のテーマ



2023~2024年度 会長 小野瀬 勝義 幹事 飛田 幸男

## 前々々会の例会報告

### 第2373回例会 1月25日 (木)

於・かま家 18:00~

- ★点鐘
- ★幹事報告 飛田幹事
- ★会長の時間 小野瀬会長
- ★職業奉仕フォーラム 職業奉仕委員会



## 前々会の例会報告

### 第2374回例会 2月8日 (木)

於・大洗磯前神社 12:30~

- ★点鐘
  - ★幹事報告 飛田幹事
  - ★会長の時間 小野瀬会長
  - ★イニシエーションスピーチ 関会員
- 今日は自己紹介に変わって、自分自身の基本姿勢、身の処し方の手本となった「恩人の言葉(肝に銘じている言葉)」を伝えたいと思います。
- (1) 切れ味鋭い先輩からの言葉
- 「ものごとの調整は相手のことを理解することから始まる。相手の性格、信条、考え方(モノサシ)は様々であるのに、君の仕事の仕方は自分の狭い単一のモノサシのみを用いて相手を見ているし、価値判断しようとしている。つまり、自分勝手なモノサシに合わない主張は受け入れようとし

ていない。それではダメだ。相手の主張にもしっかりと耳を傾け理解した上で良い答えを導くようにすべき」

「君の作る資料は最後まで読まない」と結論に至らない内容で、しかも盛り込む内容が多すぎる。上層部になればなるほど忙しさは君より数倍。時間がない。説明資料は結論を先にしてコンパクトにまとめるべき。理想は、君の説明を聞かなくとも目で追えば理解してもらえる資料を一枚にまとめることだよ」

(2) 部長からいただいた「お役に立てば」というお手製のメモ(抜粋)

ア 山本五十六語録

#### ★男の修行

苦しいこともあるだろう

云いたいこともあるだろう

不満なこともあるだろう

腹の立つこともあるだろう  
泣きたいこともあるだろう  
これらをじっとこらえてゆくのが男の修行である

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、  
褒めてやらねば人は動かじ  
話し合い、耳を傾け、承認し、  
任せてやらねば人は育たず  
やっている姿を感謝で見守って、  
信頼せねば人は実らず

#### イ 人間的魅力の研究（伊藤肇著 抜粋）

・世の中に「ホンモノ」と「ニセモノ」という言葉があるが、その区別はどこにあるかといえば、「ホンモノ」はいつもひかえめで内容が充実しているのに対して、「ニセモノ」は常に大げさで、ハッターリやスタンドプレーが目につくということであろう。

・人を抜擢するときには「退を好む人間」を上げるようにすべきだ。つまり、大臣とか社長になりたくて仕様がないうのものをもってきてはいけない。むしろ「いやだ、いやだ」と辞退するくらいの男を持ってくるべきである。「退を好む人間」は本来、清廉で恥を知っているから、一度、そういう役職につけると、誠心誠意で働き、決してちゃらんぼらんなことをしない。一方、人におくれまいと、競馬のうまみために「奔競」する奴は、絶対重要なポストにつけてはならない。そういう人間は、自分の出世のため是を是、非を非として扱わず、正道をもまげてうえにこびへつらい、しまいにスタンドプレーをやって目立ちたがる。しかもいったん要職につくと、必ず、自分の才能を鼻先にぶら下げ、賄賂を要求し、ゆきつくところは汚職事件などを起こして、その人間を推せんした関係者にまで火の粉を浴びせる仕儀となる。だから「奔競の人間とわかったら、これを抜擢してはならない」と戒めている訳だが、いったい「奔競ノ者」とは具体的にいうと、いかなる人物をいうのか。

財界総理といわれた石坂泰三がまだ存命中のことである。自民党の中でも頭脳明敏、新進気鋭を自認していた中曽根康弘が訪ねてきて、例の大風呂敷をひろげた。「立板に水を流すような、といわれる能弁より、どもりの雄弁のほうがどれだけよく人を動かすかもしれない」とよく人

を動かすかもしれない」とよく人に語っていた石坂にとっては、軽薄才子の饒舌など、我慢ならぬものであったろう。中曽根にしゃべるだけしゃべらせると、とぼけた顔でこういった。「中曽根くん。君は竜の絵を知ってるかネ。竜には常に雲が描き添えられているだろう。それは雲を描かずして竜の躍動をうきぼりにすることはできないからだ。雲は竜におけるベールであり、ベースであって、これを離れて竜の面目はあらわれ得ないのだ。人間も、この竜と同じで、自分のベース、自分の雲に隠れ切って、時々、雲間から、ほんのちょっぴり、角を見せ、顎を（あぎと）をちらつかせ、胴体と片鱗をあらわすにとどめ、そこから抜け出さぬのが一番の韜晦術（とうかいじゅつ）というものだ。それを君はどうだ。竜が禪まではずした格好で、これでもか、これでもかと余計な暴れかたをしたがる。ほんとにバカげたことだよ。」さすがの中曽根も一言もなかったという。

#### ウ 仕事上の留意事項

##### ・勝海舟の言葉

「事いまだならず小心翼翼。事まさに成らんとす大胆不敵。事すでになる油断大敵」

→最初に物事を決めるときは、いろいろな面から考える。ある時点までくると、これで決めたという時点が来て、完全に肚を決めてしまう。この段階になると、反対意見にもゆるがない。そして、あとはフォローを忘れない。

##### ・王陽明の言葉

「冷に耐え、苦に耐え、煩に耐え、閑に耐え、激せず、騒がず、競わず、随わず、以って大事をなすべし」

→他人の見る目は冷たいし、苦しいことも煩わしいことも多いが、それで、カッカしてはだめだ。また、調子に乗ってもはしゃいでもいけない。人と競っても、人のいいなりになってもいけない。

#### エ 心の処方箋 六然一崔銃（さいせん）

・自処超然（ちようぜん） 自ら処すること超然

・処人藹然（あいぜん） 人に処すること藹然  
人に接するには人を楽しくさせ、人を心地よくさせる

・有事斬然（ざんぜん） 事があるときは愚図  
愚図しないで生き生きしている

・得意淡然（たんぜん） 得意の時はあっさり  
している



- ・失意泰然（たいぜん） 失意の時は泰然自若としている
- オ 各経営者の条件（佐藤一斎-重職心得箇条-）
- ・意見で自分が部下より良いものがあったとしても、さして害の無い場合は部下の考えを用いるのが良い。部下を引き立てて、気持ちよく積極的に仕事に取り組めるようにして働かせるのが重要だ。
- ・重役たる者、仕事が忙しいという言葉を出すことを恥ずべきである。忙しくても忙しいというな。心の余裕がなければ、大事なことに気づかず、手抜きが出る。攻めができるかどうかは、考える時間に正比例する。仕事のために仕事をつくるな、仕事を省くのが仕事。
- ・政事は大小軽重の区別を誤るな。着眼を高くし、全体を見回し、先を見て、成算を立て、一歩一歩手順を踏んで実行せよ。

## 前会の例会報告

### 第2375回例会 2月25日（日）

於・ホテルクリスタルパレス 13:30～

2023～2024年度  
国際ロータリー第2820地区  
第2分区

IM (Intercity Meeting)  
Thema “ロータリーに夢を”  
ホスト 那珂湊ロータリークラブ

## Intercity Meeting Photos



★ガバナー補佐あいさつ  
RI第2820地区ガバナー補佐  
磯崎孝さん

★来賓あいさつ  
RI第2820地区ガバナー  
大久保博之さん





★講演 “海の夢拾い”

バージル・マサヨさん

Ms. Barzile Masayo

Educator (エドゥケーター)

Play Artist (プレイ アーティスト)

「地球と未来(子ども)と仕事をする」ことをモットーに夢を持って人生を豊かに生きることを日々実践中

\* 「夢拾い」: 広島県広島市の上野和浩さんが2010年「ひとりゴミ拾い」意味する言葉として使い始めました。

★クラブ発表

「“見て覧(ミテラン)”について」

大洗ロータリークラブ社会奉仕委員長

田口富之さん



【ソプラノ】 清水知子さん

【ピアノ】 長谷川陽子さん

★Attraction

“オペラの夕べ”

I 歌劇「セルビアの理髪師」より

今の歌声は ロッシーニ作曲

II 歌劇「フィガロの結婚」より

恋とはどんなものかしら

モーツァルト作曲

III 歌劇「トスカ」より

歌に生き恋に生き プッチーニ作曲

IV カンツォーネ

オー・ソレ・ミオ～私の太陽～

カプア作曲

V 群青

谷村新司 作詞・作曲

VI ピアノ独奏

革命のエチュード 作品 10-12

ショパン作曲

VII 歌劇「蝶々夫人」より

ある晴れた日に プッチーニ作曲

今月は水と衛生月間です

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

会報委員会

土子吉久

加部東孝浩